

# TSUDOI

## スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

### 本レポートコンテンツ

#### ◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測









#### ◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

#### ◆大穴：新規銘柄発掘ガイド


CMC新規リスト銘柄分析

### ◆調査銘柄 早見表

TOP		<u>Maker</u>		<u>UNUS SED LEO</u>		<u>TRON</u>
中堅		<u>NEON</u>		<u>Biconomy</u>		<u>GMT</u>
新規		<u>Ondo</u>		<u>Metis</u>		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。


 **とは** リサーチ担当の目線で、関連ニュースから中長期的に、いい影響がありそうな銘柄に表示しています。

  
有料  
レポート

# 週次トークン価格高騰 TOP銘柄

## トップ銘柄 分析ガイド 1/25

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起ったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。今週は、業界の基軸通貨であるBTCは▽5.98%の下落となっており、業界全体としても下落傾向がある市場となっていました。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	上昇率 7days
#44	 <b>Maker</b>	DAO	¥286,287,887,105	¥310,336.22	2.66倍 (ICP比)	#72	▲5.05%
#21	 <b>UNUS SED LEO</b>	CEX	¥556,933,547,244	¥599.17	11.55倍 (BNB比)	#845	▲1.49%
#11	 <b>TRON</b>	Layer 1	¥561,225,332,292	¥16.09	26.82倍 (ETH比)	#32	▲0.41%

## TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▽5.98%となっております。





参照元：Coinmarketcap

## 銘柄の価格高騰要因(考察)

### MakerDAO：MKR

**注目ポイント：DeFiのReal World Asset(RWA)取引で1日平均9,450万ドル(約139億円)を記録**

Maker (MKR) は、分散型金融 (DeFi) におけるリアルワールド資産 (RWA) 取引で、1日平均約139億円 (9450万ドル) という高い取引量を記録しています。これは投資家にとって朗報となるような業界の活発な動きを示しています。しかし、同時に、RWA分野への投資総額 (TVL) が過去3ヶ月で33%減少していることも注目されています。これは、投資家が注意すべき潜在的なリスクを指摘しています。したがって、投資家は、Maker (MKR) の市場でのポジティブな動きと、RWA分野への投資減少に伴うリスクの両方を慎重に考慮する必要があります。

### UNUS SED LEO：LEO

**注目ポイント：取引所のトークンとして取引所の需要と連動**

LEOトークンは、取引所Bitfinexの動向に強く連動する特性を持っています。例えば、この週にBitfinexは現在注目されている『Injective』という銘柄をリストに加えました。このような取引所の活動により、取引所内の取引が増えることで、手数料の一部を燃焼させる機能を持つLEOトークンの価値や需要に直接的な影響を与えている可能性があります。

### TRON：TRX

**注目ポイント：HTX DAOが活動開始し、TRXホルダーにとっての好材料となる**


HTX DAOは、TRONの創設者ジャスティン・サン氏によって買収されたHuobi (フオビ) が、2023年9月にリブランディングを経てできた取引所となります。話題となったポイントとして、HTX DAOが1月18日に活動を始め、より透明で効率的な経済構造を目指していくという発表があり、HTX DAOは、HuobiHTXとTRONから大きな支援を受けており、Huobi HTXは収益の50%をHTX DAOに提供し、TRONも資金の50%を寄付するとのことです。複数の業界メディアで取り上げられた記事では、TRXの保有者が、この新しいHTX DAOに大きな期待を寄せており、このDAOの活動の成功を通じて、TRXの価値を高めることに期待を持っているとのこと。

# CMCサイト内 検索トレンド中堅銘柄 新規リスト銘柄

狙い目：中堅銘柄・新規銘柄 発掘ガイド 1/25

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅・新規銘柄を見つけるために、二つの重要な分析手法を採用しています。一つ目は、Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。二つ目は、CMCに新たに掲載された銘柄もしくは時価総額ランキング200位以下の銘柄を対象に、直近で、時価総額ランキングで50位から200位の間に位置する新規銘柄があるかどうかを調査し、その情報を提供することです。

## 検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量ラ ンク	上昇率 7days
#82	 <b>NEO</b>	platform	¥110,465,228,885	¥1,566.02	50.78倍 (SOL比)	#121	▼7.08%
#191	 <b>Biconomy</b>	platform	¥31,785,826,655	¥50.32	176.48倍 (SOL比)	#365	▼14.41%
#118	 <b>GMT</b>	gaming	¥63,376,990,218	¥38.07	5.71倍 (IMX比)	#128	▼11.30%

## 検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

### Neo : NEO

注目ポイント：2024年1月22日に正式に Web3 KYC Alliance へ加入

このアライアンスは、2,000万人のユーザーベースを持つ強力なコンプライアンスの専門知識を持つ団体の取り組みであり、Neoが加入することにより、Neoプラットフォームは規制当局からの信頼を得やすくなり、その結果より安定したプラットフォームとして再注目される可能性があります。ただし、現状のプライバシー保護のルールと分散型の原則とでは対立関係になりかねない懸念もあるため、規制強化のデメリットについても検討しておくとい良いでしょう。

## Biconomy : BICO

**注目ポイント：1/22 Blast(レイヤー2)へアカウント抽象化(AA)機能を導入**

Biconomyは、1/22に公式SNSにて、**レイヤー2プロジェクトである『Blast』にアカウント抽象化(AA)という機能を導入したことを発表しました。**これにより、分散型アプリケーション(dApps)の開発者は、ユーザーがより簡単フローでdAppsへアクセス可能になる点とユーザー目線で取引手数料が不要になる機能を実現することができるようになります。また、**『Blast』の経済圏を広める開発者に対するエアドロップキャンペーンを実施**しており、BICO保有者にとって**直接的なメリットのある発表**となります。

## GMT : GMT

**注目ポイント：今月リリースの『Gas Hero』の取引額が好調&2024年の目標を発表**

GMTはFind Satoshi Lab(FSL)のネイティブトークンで、同社の開発したStepnでも使用されています。今回注目されたポイントとしては、2024年1月に公開された同社開発の『Gas Hero(ゲーム)』の**取引額がさっそく9,000万ドル(約133億円)を記録したことが業界メディアで取り上げられており注目**を集めています。

また、先日行われた**Stepnタウンホールミーティングにて様々な報告や発表があり**、昨年の活動の振り返りやFSLの新CEOの紹介、2024年の目標などが話され、GMTトークンの保有者に対して新たな期待感が高まっているようです。

## 中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**▽5.98%**となっております。



## CMC新規リスト銘柄：調査日 1/25

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	リスト 日時
#138	 <b>Ondo</b>	RWA	¥50,770,845,557	¥36.90	---	#43	1/18
#129	 <b>Metis</b>	Layer2	¥56,360,017,650	¥12,323.11	5.86倍 (ABR比)	#149	---

## Ondo : ONDO

### 注目ポイント：Bybit/Kucoin/Coinbaseへの上場 & 『Ondo Finance』のAPAC進出発表

有名取引所への上場を行った結果、ONDOは時価総額ランキングで急激に上昇し、TOP150位圏内に入りました。この動きは、業界の多くのメディアによって話題の銘柄として取り上げられています。

また、『Ondo Finance』は、RWAsのグローバル市場で40%を占める米国企業となり、その実績を背景にアジア太平洋地域への進出を発表、経済圏の拡大が期待されています。ONDOトークンの供給量の52.1%が「エコシステム成長」のために使われ、エアドロップなどのメリットを提供することが投資家に期待されています。この要素と最近の上場や発表により、市場と投資家の注目を集めています。

## Metis : METIS(レイヤー2)

### 注目ポイント：昨年より発表されたMetis EDFへの注目 & コミュニティ・テストの実施

2023年12月18日、MetisDAO FoundationはMetis Ecosystem Development Fund (Metis EDF) を発表しました。この基金は、Metisエコシステムの発展を促進するため、約4.6百万METISトークン（およそ1億ドル相当）を割り当てる計画です。これらのトークンは2024年の第1四半期に配布される予定です。また、Metisでは1月3日から17日まで約2週間、ユーザーが様々なdAppsをテストするコミュニティテストを実施しており、テストの第2シーズンが近々公開される予定です。このテストに参加することで報酬が得られるため、多くの関心が集まっています。

Ethereumは、2023年1月17日に「Dencun」と呼ばれる大規模なアップグレードをテストネットで行い、その本番環境（メインネット）への実装を2023年第1四半期に予定しています。基盤となるレイヤー1のアップグレードによって、レイヤー2全体への関心がさらに高まっています。

## 引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

## 注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDOI

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-platform.co.jp/>